

産業廃棄物処理計画書

令和7年 7月 31日

島根県知事
丸山 達也 殿



提出者

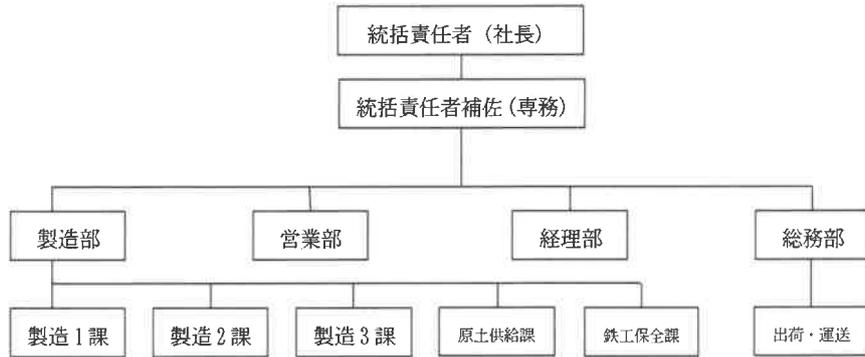
住 所 島根県大田市水上町白坪658-1
氏 名 瓦百景株式会社
代表取締役 芝尾宜秀
電話番号 0854-89-0201

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	瓦百景株式会社 本社工場
事業場の所在地	島根県大田市水上町白坪658-1
計画期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2231
②事業の規模	8.6億円
③従業員数	73人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和2年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	瓦くず	
	排出量	1723 t	t
	(これまでに実施した取組) ・毎年歩留り目標を設定し、廃棄物抑制に努めた		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	瓦くず	
	排出量	2000 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き、歩留り向上を目標に掲げ、廃棄物の発生を抑える		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 瓦くずを専用のバケットに入れ、各生産ライン廃棄物担当者が一括保管場所に運搬し、保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	瓦くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	753 t	t
	（これまでに実施した取組） ・瓦くずを粉砕処理し、粉砕物を販売 ・粉砕物を自社生産の棟土原材料として使用 ・自社粘土搬入路のヌカルミ防止のため、破砕物使用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	瓦くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1300 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・粉砕物の用途提案・販路拡大		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	瓦くず	
	全処理委託量	970 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	970 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで不良品として廃棄していた一部の製品を訳あり品として特別採用し、顧客に提供した ・毎年歩留り目標を設定し、廃棄物抑制に努めた 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	瓦くず	
	全処理委託量	700 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	700 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・歩留り向上を目標に掲げ、廃棄物の発生を抑える ・自社で瓦くずを破碎し、処理委託量を抑える		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

1. 会 社 の 概 要			
(1) 会 社 名	瓦百景株式会社		
(2) 資 本 金	1,000万円		
(3) 従 業 員 数	80名		
2. 当該事業場において現に行っている事業の概要			
(1) 従 業 員 数	73名		
(2) ベット数(医療機関等)			
(3) 製造品出荷額等 又は 元請完成工事高	8.6億円		
(4) 製造又は工事概要	粘土瓦製造、販売		
(5) 製造等フローシート	図面添付のこと(図面番号を記入) 図1		
(6) 工場等配置図	図面添付のこと(図面番号を記入) 図2		
(7) 建設工事請負実績			
(8) 事業展望	市場が縮小しているが、徹底的なコスト削減と付加価値の高い商品売上比率を高め収益を確保したい。		
(9) 廃棄物発生フロー図	図面添付のこと(図面番号を記入) 図3		
(10) 作成処理計画	産業廃棄物	特別管理産業廃棄物	双 方
(11) 連絡先 (担当者)	所属部署	専務取締役	
	氏 名	芝尾 敬司	
	電話番号	0854-89-0201	
	F A X	0854-89-0276	
3. 計画期間		令和 3年 4月 1日 から 令和 8年 3月 31日まで	

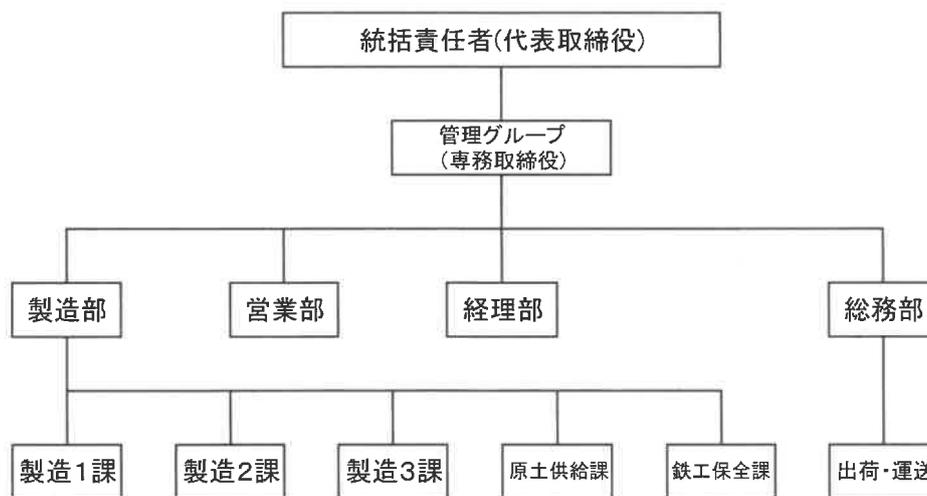
<p>計画策定事項 (添付書類)</p>	<p>4. 処理に係る管理体制に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none">○ 管理組織図○ 産業廃棄物処理責任者氏名○ 特別管理産業廃棄物管理責任者氏名及び受講状況○ 廃棄物処理施設技術管理者氏名及び受講状況○ 教育・研修○ 情報公開 等 <p>5. 排出の抑制に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none">○ 現状○ 目標の設定○ 具体的取組○ 排出の抑制に係る情報の収集・管理○ 中長期的課題 等 <p>6. 分別に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none">○ 現状○ 目標の設定○ 具体的取組○ 分別に係る情報の収集・管理○ 分別に係る施設の設置状況(種類、処理能力、耐用年数等)○ 中長期的課題○ 委託処理の状況(契約の状況等) 等 <p>7. 再生利用に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none">○ 現状○ 目標の設定○ 具体的取組○ 再生利用に係る情報の収集・管理○ 再生利用に係る施設の設置状況(種類、処理能力、耐用年数等)○ 中長期的課題○ 委託処理の状況(契約の状況等) 等 <p>8. 処理に関する事項(6及び7に記載する分別及び再生利用に関する項目を除く)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 現状○ 目標の設定○ 具体的取組○ 処理に係る情報の収集・管理○ 処理施設・保管施設の設置状況(種類、処理能力、耐用年数等)○ 中長期的課題○ 委託処理の状況(契約の状況等) 等 <p>9. 特別管理産業廃棄物を適正に処理するために講じようとする措置に関する項目 《特別管理産業廃棄物処理計画のみ記載する》</p> <ul style="list-style-type: none">○ 現状○ 措置の概要(計画期間、予算措置等)○ 措置のため設置しようとする施設の概要○ 措置による周辺環境への影響に関する評価○ 措置による成果 等
<p>備考</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。(図面等は除く)2. 提出部数は、2部とする。 (但し、県内に複数の施設又は作業場がありその所在地を所管する保健所が2以上の場合は1部とする。)3. 計画期間は原則5年間とすること。 (但し、建設業については原則1年間とすること。)

4. 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図

統括責任者		職・氏名：代表取締役 芝尾 宜秀
産業廃棄物担当		組織名： 管理グループ 組織人数：5名 職・氏名：専務取締役 芝尾 敬司
役割	管理グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の促進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長－専務取締役 ・委員－関連部署部課長 ・事務局－管理グループ
	廃棄物処理統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理方針の策定 ○工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当課長	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理場の点検・維持管理状況の把握 ○監督官庁への各種報告 ○社員に対する教育・啓発 ○その他関係する事項

廃棄物管理組織



(2)教育・研修

- 発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し、従業員に定期的に教育・研修する。
- 全作業員を対象とした廃棄物関係法令、関係官庁の指導方針を周知、徹底する。
- 各ラインによる廃棄物担当者を対象とする取り扱いの実務研修を実施する。

5. 排出の抑制に関する事項

現状	目標の設定	具体的な取り組み	中長期的課題
1723t (R2年度)	2,000t	歩留り向上を目標に掲げ、廃棄物の発生を抑える	具体的な取り組みの中で、特に老朽設備の改善と新設備導入も考慮し、不良品の発生を抑制する。

6. 分別に関する事項

現状	具体的な取り組み	中長期的課題
	瓦くずを専用のバケツに入れ、各生産ライン廃棄物担当者が一括保管場所に運搬し、保管している	現状維持

7. 再生利用に関する事項

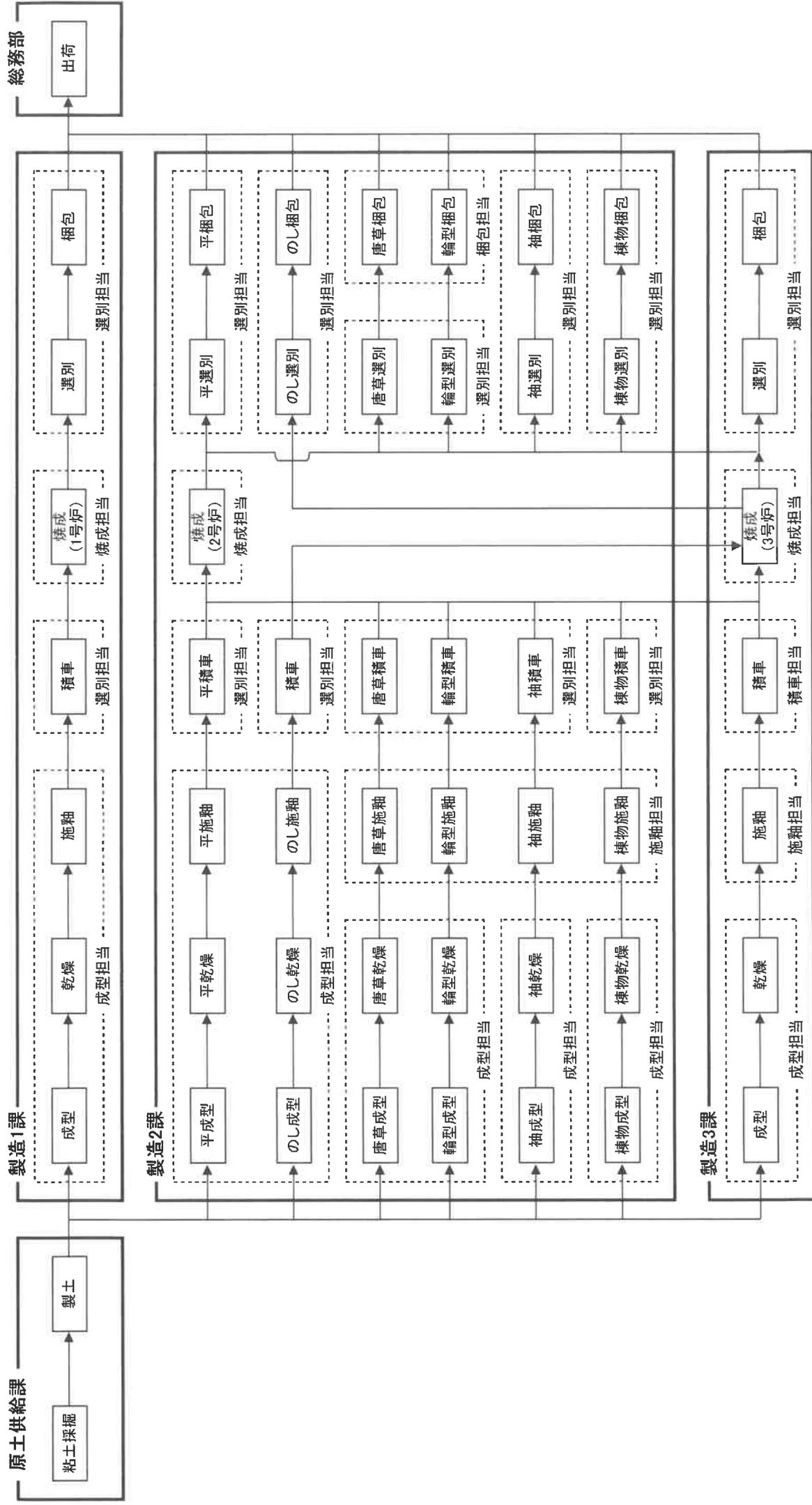
現状	目標の設定	具体的な取り組み	中長期的課題
753t (R2年度)	1300t	<ul style="list-style-type: none"> ・瓦くずを粉碎処理し、粉碎物を販売 ・防草、ヌカルミ対策として破砕物を使用 	瓦粉碎物の用途開発

8. 処理に関する事項

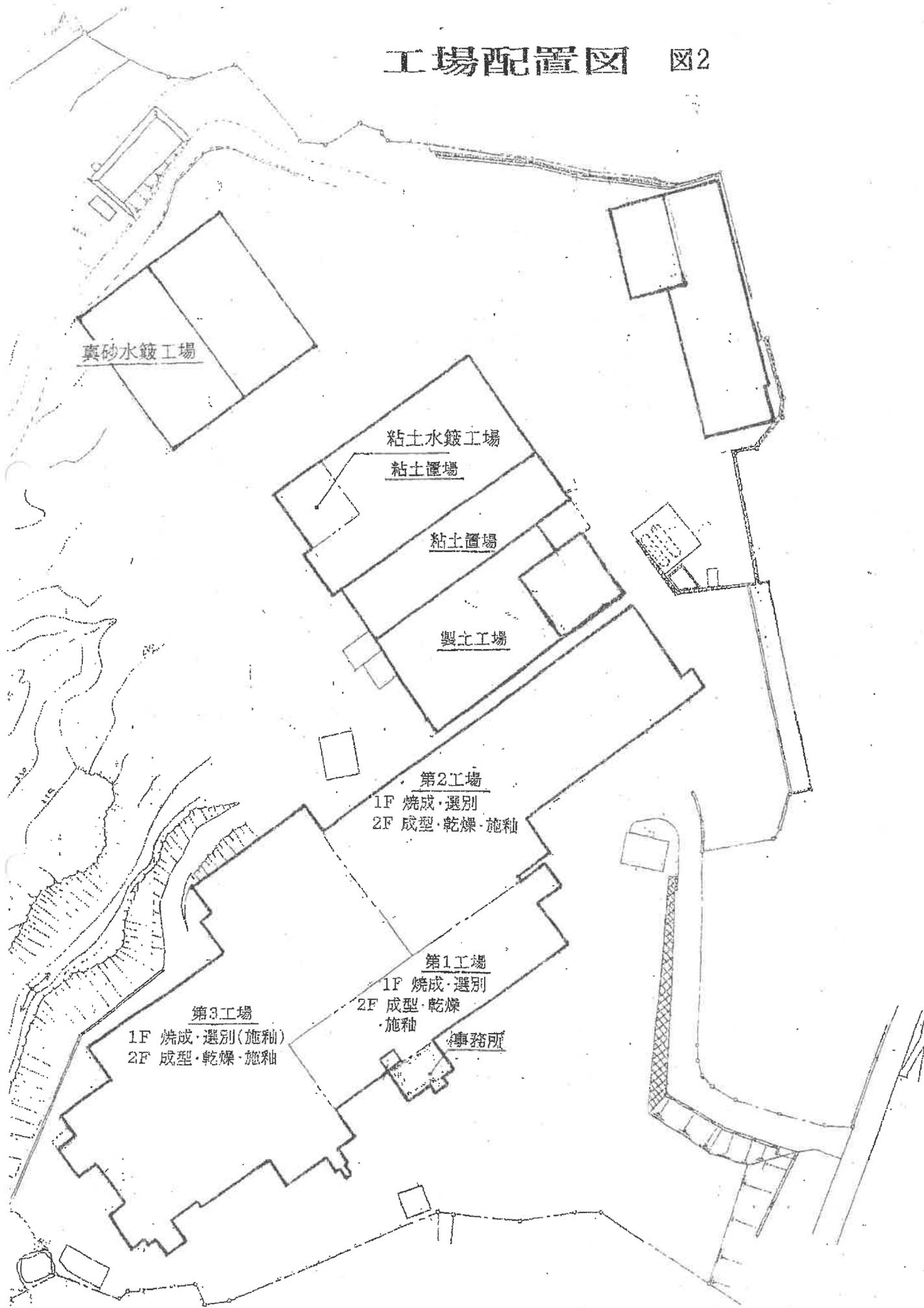
現状	目標の設定	具体的な取り組み	中長期的課題
970t(R2年度) (株)リゾートへ 依頼	700t	<ul style="list-style-type: none"> ・歩留り向上を目標に掲げ、廃棄物の発生を抑える ・自社で瓦くずを破砕し、処理委託量を抑える 	委託処理業者の確保

製造工程フロー図

図1



工場配置図 図2



廃棄物発生フロー図 図3

